

# 2026年4月の天候（山形県）

## 目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位更新
- 7 その他

## 山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

### [注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

## 1 天候経過（2026年4月）

### 【今月の特徴】

#### ○高温

- ・平均気温は、県内すべての地点でかなり高かった。山形・酒田・新庄の月平均気温はいずれも4月として3位を更新。

### 【概況】

月

低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過したため、天気は周期的に変化した。

月平均気温はかなり高い。月降水量は村山・置賜・最上は平年並から少なく、置賜は少ない。月間日照時間はおおむね多く、庄内では少ない所があった。

上旬

低気圧が、日本付近を次々と通過したため、曇りや雨の日が多かった。南からの暖かい空気が流れ込んだため、気温がかなり高く経過した。

旬平均気温は、かなり高い。旬降水量は、村山・置賜・最上は多く、村山・最上はかなり多い所がある。庄内は平年並から多く、かなり多い所がある。旬間日照時間は少なく、かなり少ない所がある。

中旬

高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。南からの暖かい空気が流れ込み、気温はかなり高い所が多かった。

旬平均気温は、村山・置賜・最上はかなり高い。庄内は高く、かなり高い所があった。旬降水量は少なく、かなり少ない所があった。旬間日照時間は多く、かなり多い所があった。

下旬

高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過したが、山形県は高気圧に覆われ、晴れる日が多かった。

旬平均気温は、村山・置賜・最上は高く、村山・最上はかなり高い所があった。庄内は平年並か高い。旬降水量は、村山・置賜は平年並、庄内・最上は平年並から少ない。旬間日照時間は、村山・置賜・庄内は平年並から少ない、最上は平年並。

## 2 日々の気圧配置（2026年4月）

- 1日：高気圧が、日本海から三陸沖に移動し、東北地方は次第に気圧の谷となる。
- 2日：低気圧が、東海道沖から三陸沖に進む。
- 3日：低気圧が、三陸沖から千島近海に進む。一方、本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 4日：低気圧が、黄海から日本海に進む。
- 5日：低気圧が、日本海からオホーツク海に進み、寒冷前線が北日本を通過する。また、別の低気圧が三陸沖にあって北東へ進む。
- 6日：高気圧が、オホーツク海にあって北日本を緩やかに覆う。
- 7日：低気圧が、日本海にあってオホーツク海に進む。また、別の低気圧が、日本の南から日本の東に進む。
- 8日：高気圧が、日本付近を覆う。
- 9日：高気圧が、本州付近を緩やかに覆う。
- 10日：低気圧が、日本海を北東へ進み、前線が東北地方を通過する。
- 11日：低気圧が、北海道からオホーツク海に進む。また、気圧の谷が東北地方を通過する。
- 12日：高気圧が、朝鮮半島から日本の東に移動する。
- 13日：高気圧が、本州付近を覆う。
- 14日：高気圧が、本州付近を覆う。
- 15日：高気圧が、本州付近を緩やかに覆うが、東北地方は次第に気圧の谷となる。
- 16日：低気圧が、関東の東から日本の東に進む。一方、高気圧が、日本海にあって東へ移動する。
- 17日：高気圧が、日本付近を覆う。
- 18日：高気圧が、日本の東を東へ移動し、東北地方は気圧の谷となる。
- 19日：高気圧が、日本海にあって三陸沖に移動する。
- 20日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が日本海を東へ進む。
- 21日：低気圧が、日本海北部にあって北へ進み、寒冷前線が東北地方を通過する。一方、高気圧が黄海にあって東へ移動する。
- 22日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。
- 23日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。一方、低気圧が東シナ海から東海道沖に進む。
- 24日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が日本の東を北東へ進む。
- 25日：高気圧が、北日本を覆う。
- 26日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が四国の南を東へ進む。
- 27日：低気圧が、東海道沖から三陸沖に進む。
- 28日：低気圧が、日本の東から千島の東に進む。また、別の低気圧が日本海を東へ進む。
- 29日：低気圧が、三陸沖から日本の東へ進む。一方、高気圧が日本海を東へ移動する。
- 30日：高気圧が、北日本を覆う。

### 3 気候統計値（2026年4月）

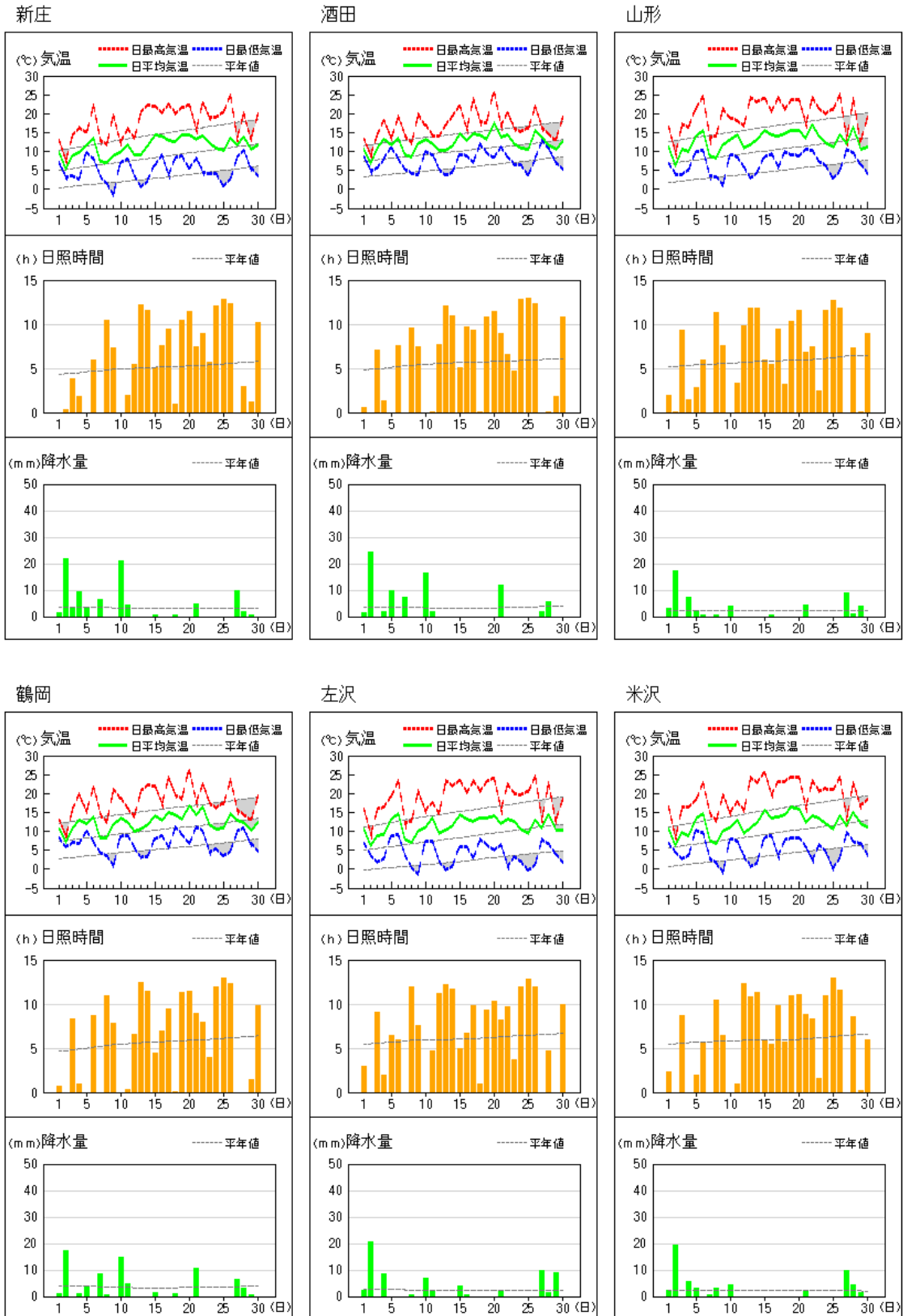
・2026年4月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	11.0	+3.1	かなり高い	35.0	187	多い	40.4	73	かなり少ない
	中旬	14.0	+3.8	かなり高い	0.5	2	かなり少ない	82.5	144	かなり多い
	下旬	13.3	+0.8	高い	18.5	81	平年並	69.1	109	平年並
	月	12.8	+2.6	かなり高い	54.0	85	平年並	192.0	109	多い
酒田	上旬	11.0	+2.6	かなり高い	62.0	177	多い	33.7	65	少ない
	中旬	13.1	+2.9	かなり高い	2.0	6	かなり少ない	77.3	135	多い
	下旬	12.6	+0.5	平年並	19.5	53	平年並	71.1	119	多い
	月	12.3	+2.1	かなり高い	83.5	81	少ない	182.1	108	多い
新庄	上旬	9.3	+3.1	かなり高い	67.0	195	かなり多い	29.5	62	かなり少ない
	中旬	12.4	+3.9	かなり高い	5.5	18	かなり少ない	76.3	150	かなり多い
	下旬	12.2	+1.3	高い	17.5	53	平年並	73.5	132	多い
	月	11.3	+2.8	かなり高い	90.0	92	少ない	179.3	116	多い
米沢	上旬	10.0	+3.2	かなり高い	38.5	178	多い	35.5	61	かなり少ない
	中旬	13.5	+4.3	かなり高い	0.0	0	かなり少ない	84.2	145	かなり多い
	下旬	12.6	+0.9	高い	18.0	80	平年並	68.9	108	平年並
	月	12.0	+2.7	かなり高い	56.5	84	少ない	188.6	105	多い

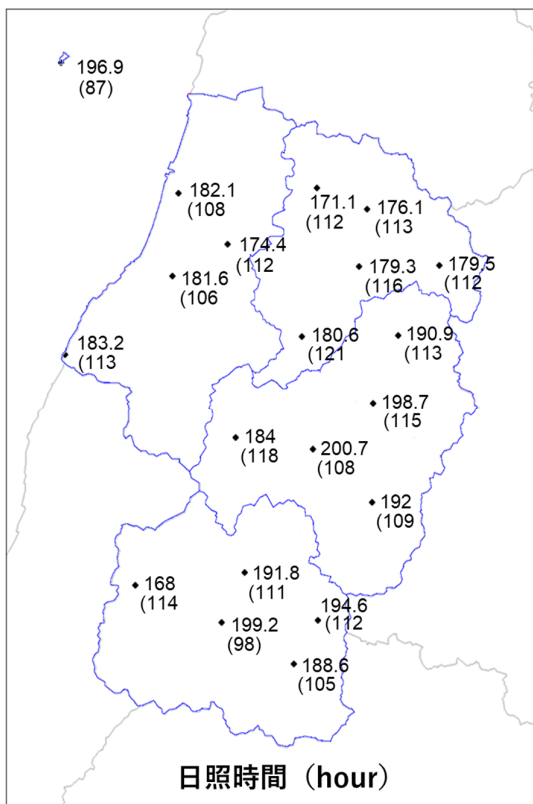
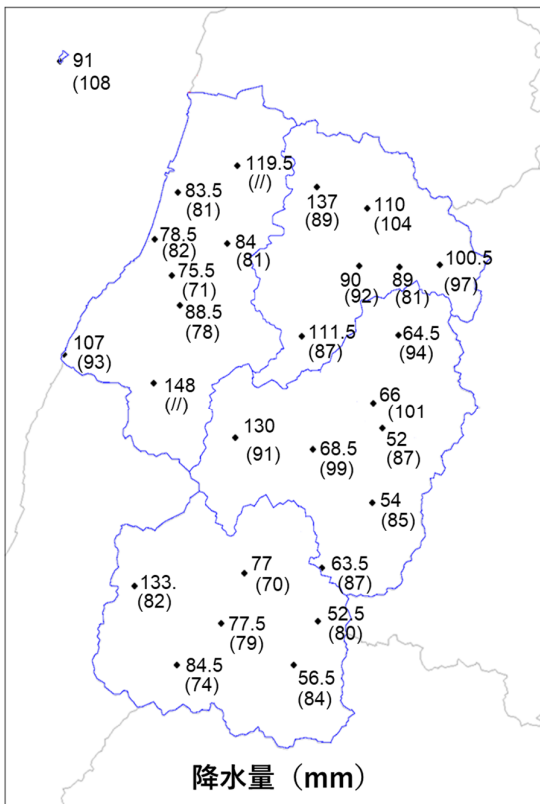
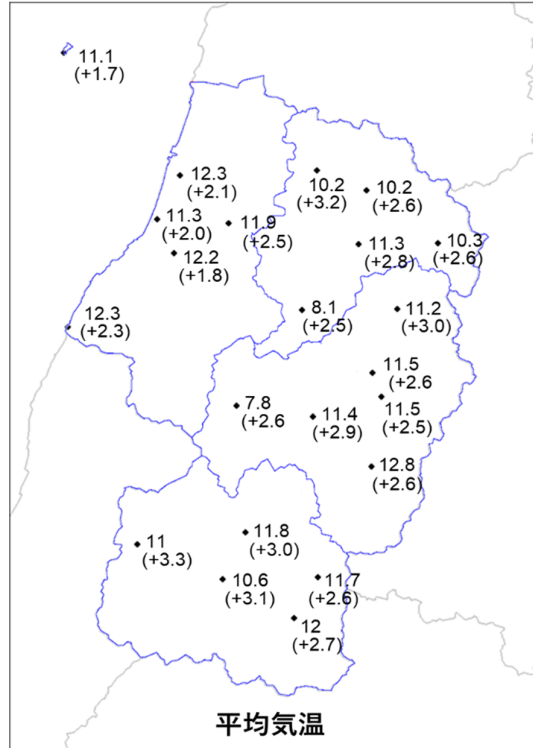
注】次の表示 X:欠測 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

#### 4 気象経過図（2026年4月）

アメダス 気象経過図：2026年04月01日-2026年04月30日



## 5 気象分布図（2026年4月）



【注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の( )内は平年差(℃)、降水量の( )内は平年比(%）、日照時間の( )内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

## 6 極値・順位更新 (2026年4月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 4月として1位~3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月平均気温の高い方から (℃)	山形	12.8	3	-	1890年
	酒田	12.3	3	-	1937年
	新庄	11.3	3	-	1958年
日最小相対湿度(%)	新庄	10	1	22日	1958年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 4月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大10分間降水量 (mm)	長井	5.5	15日	-	2009年
	小国	4.5	2日	-	2009年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

## 7 その他

### ○生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちろう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測を行っています。

#### 【生物季節観測】(2026年4月)

種目	現象	2026年	平年	平年との差	2025年	昨年との差	観測した場所
さくら	開花	4月2日	4月13日	11日早い	4月9日	7日早い	気象台構内
さくら	満開	4月6日	4月18日	12日早い	4月14日	8日早い	気象台構内

※平年値は1991~2020年の平均値

生物季節観測の2026年の観測状況は、山形地方気象台のホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>

### ○観測所の移設について

荒沢地域雨量観測所は、令和8年3月23日をもって観測を終了し移設しました。移設後は、観測所名を上田沢地域雨量観測所として令和8年3月24日から観測を開始しております。

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 [https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area\\_type=offices&area\\_code=060000](https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000)